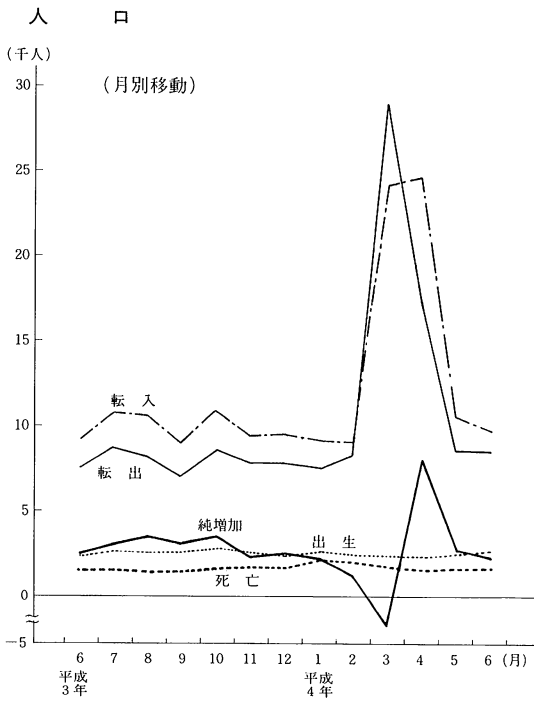
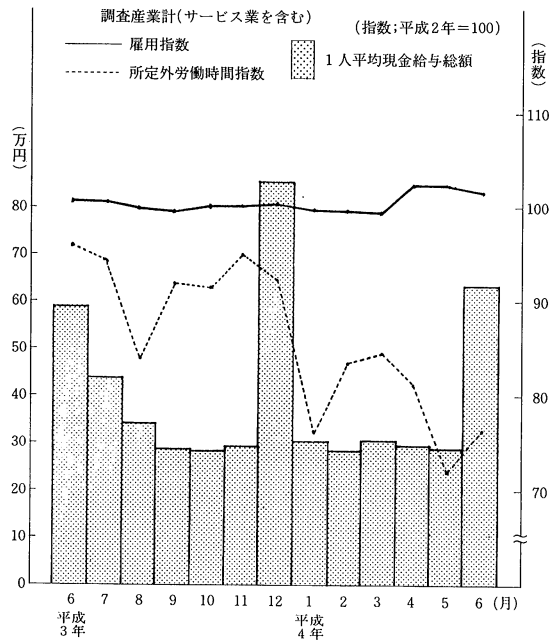


● 今月の主な動き

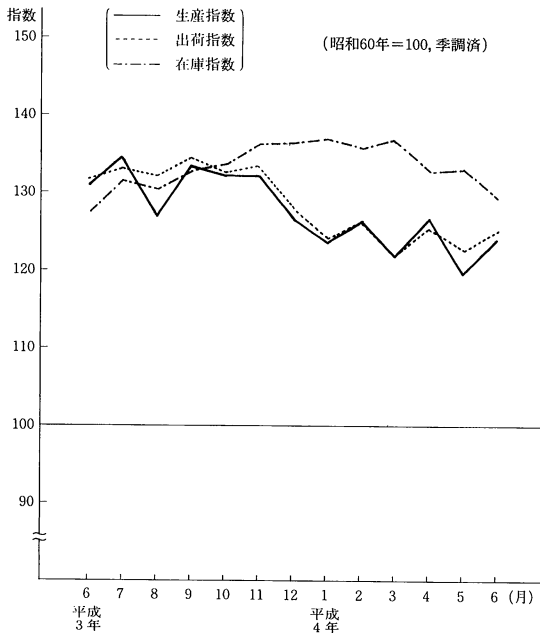
今月の主な動き



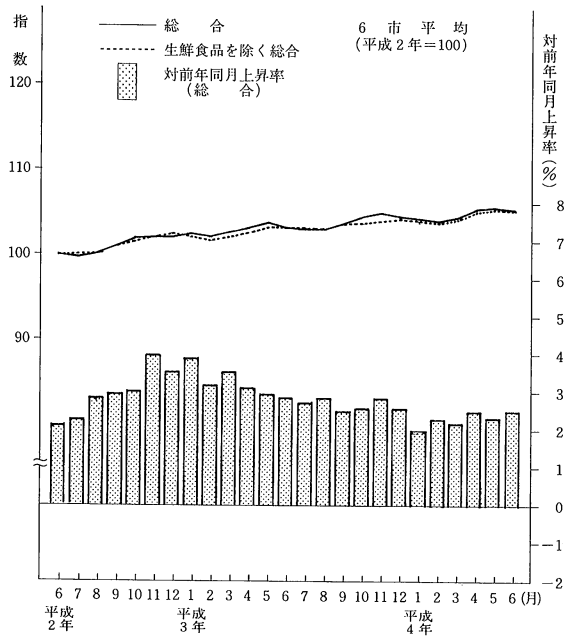
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(7月1日)

本県の人口は、6月中に2,137人増加し、7月1日現在で2,897,708人(男1,447,121人、女1,450,587人)となった。

内訳は、自然動態で1,024人(出生2,506人、死亡1,482人)増加し、社会動態で1,113人(転入9,707人、転出8,594人)増加した。前年同月と比べると29,970人(1.05%)の増

加である。

市町村別では、増加が15市44町村、減少が5市20町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても6月中に1,512世帯増加し873,065世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(6月)

1. 平均賃金の推移

6月の現金給与総額は、調査産業計で634,059円、対前年同月比7.8%増、このうち、きまって支給する給与は289,087円、対前年同月比1.8%増であった。また、このうち、所定内給与は262,387円、対前年同月比3.8%増であり、超過労働給与は26,700円、対前年同月比14.1%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比5.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

6月の総実労働時間は、調査産業計で175.2時間、対前年同月比3.8%減であった。このうち、所定内労働時間は160.4時間、対前年同月比2.0%減、所定外労働時間は、14.8時間、対前年同月比20.4%減であった。

3. 雇用の動き

6月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.1%増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(6月分)

本県における平成4年6月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が123.9、出荷が125.0、在庫が129.0で、前月比は、生産が3.8%の上昇、出荷が2.0%の上昇、在庫が△3.1%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△5.1%の低下、出荷が△5.1%の低下、在庫が1.3%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、化学工業、非鉄金属工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、精密機械工業、繊維工業が低下した。出荷では、鉱業、化学工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、繊維工業、一般機械工業、

精密機械工業等が低下した。在庫では、鉱業、化学工業、非鉄金属工業が上昇し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財が低下した。在庫では、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数(6月)

平成4年6月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.4(平成2年=100)となり、前月比0.4%の下落、前年同月比2.5%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……家庭用耐久財1.5%

今月の下がった主な項目……果物11.0%、魚介類4.0%

生鮮食品を除く総合は105.6となり、前月比はもちあい、前年同月比2.6%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	104.7	△0.7	2.0	保健医療	102.3	△0.1	2.5
食 料	104.5	△1.4	1.5	交通通信	99.4	△0.5	△1.3
住 居	110.3	0.7	6.2	教 育	105.8	0.0	3.1
光熱・水道	102.8	△0.1	0.5	教養娯楽	107.0	0.1	3.2
家具・家事用品	100.8	△0.9	△0.6	諸 雑 費	103.6	0.4	2.4
被服及び履物	105.0	△3.4	1.9	生鮮食品を除く総合	105.3	△0.3	2.4